



このコーナーではクルマに関する
為になる雑学をご紹介します。
意外と知らないことがあるかも!?

vol.40

この装備、本当に必要?

その③ あると便利だけど...

最近のクルマには様々な装備が装着されています。便利な装備もあれば、「本当にこれ必要な?」と思える装備もあります。

人によっては、せっかく付いている装備でも、クルマを購入してから一度も使ったことがない装備もあるかと思います。便利な装備が増えるのはうれしいことですが、その逆に装備が増えるとクルマの価格は高騰します。使わない装備の場合、むしろ無い方が軽量化ができて動力性能のアップ・燃費の向上につながるのです。

前々回よりクルマの装備・機能について見つめ直してきました。今回は一挙に下記3つの機能をピックアップし見つめ直していきましょう!

1 メモリー付きパワーシートについて

自分専用のシートポジションを記憶させておくことができる「メモリー付きパワーシート」。他の人が乗った後でも、ボタンを押すことであらかじめ設定してある自分専用のポジションに自動でシートが移動してくれます。複数人でクルマを使いまわしをするときに便利な機能です。

しかし、クルマは1人1台というのが当たり前の今日このごろ。1台のクルマを複数の人が使いまわしをするということがなければ、メモリー付きパワーシートなどというものは無用となってしまいます。

それどころか、自分しか乗らないクルマであれば、通常のパワーシートだって必要ないかもしれません。

最初に乗ったときのみポジション設定が必要になるので、その1回の設定のためにわざわざモーターを使ってシートを動かす必要もありません。

自分の足や背中を使ってシートを動かせば十分です。パワーシートは、シート内部にモーターをいくつか取り付けなければならないため、車重の増加につながり、結果燃費も悪くなってしまうのです。



2 カーナビの運転診断機能について

最近のカーナビはよく喋ります。エンジンをかけるたびに今日は何の日かを教えてくれたり、家に帰ると「運転お疲れさまでした」と労をねぎらってくれたりします。

その程度のお喋りであれば別に気にもならないのですが、運転診断機能がついているものも多く、ちょっとアクセルを強めに踏むと「急加速です。もっと丁寧に運転しましょう」とか、制限速度を少しでもオーバーすると「ゆっくり走りましょう」などと話しかけてきます。このナビのアドバイス通りに運転していたら、初心者マークをつけたドライバーと同じような運転になってしまいます。あおり運転を受けたり、交通

の流れにうまく乗れない可能性もあります。ペテランドライバーなら、思わず「大きなお世話だ!」と言いたくなるような、おせっかいな機能といえます。目的地を設定し、ナビゲーションの際に音声で誘導してくれるのはありがたいのですが、関係ないことを喋りすぎるのは不必要な気がします。

3 シートヒーターについて

革張りのシートは、座るときにひんやりと冷たさを感じるので、シートヒーターがあると快適かもしれません。シートヒーターは直接シートを温めるので、暖房よりも早く暖かくなるというメリットがあります。そのため、特に寒冷地などでは重宝する装備といえるかもしれません。ただし、ヒーターというのは思った以上にバッテリーに負担がかかります。ある程度エンジンが暖まってきて車内が暖かくなればシートヒーターはOFFにするのが正解かと思えます。

また、シートヒーターをつけたまま走っていると、背中がボカボカしてきて眠気が襲ってくるという方も少なくないかと思えます。今では軽自動車にさえ装備されているシートヒーター。決して無駄な装備だとは思いませんが、寒冷地以外の人であれば特に必要性を感じないという人も多いのではないかと思います。

